



白樺は空に向かって立つ



# 湧雲

第10号  
2018年8月30日発行

発行・北海道深川西高等学校同窓会  
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号  
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数  
17,140名

デザイン・印刷・SALAT (株) サラト  
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172  
Tel:079-284-1380 http://www.salat.co.jp

## 開校80周年記念式典開催に向けて

### 開校80周年記念事業

#### 実行委員会設立の趣旨

北海道深川西高等学校  
開校80周年記念事業実行委員会  
設立準備委員会

初秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、教育活動の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

北海道深川西高等学校は、北空知の11か町村地域の強い要望により、昭和13年3月に北海道北空知中学校として設置・認可されました。昭和16年4月に北海道庁立深川中学校と改称、昭和23年4月に北海道立深川高等学校と改称、ついで昭和28年4月に北海道深川東高等学校と分離独立、北海道深川西高等学校と改称して、現在にいたっております。開校以来、平成30年をもって、満80年の年輪を重ねることになりました。

この間、深川市を中心として、近隣の市町村等から、各界各層の支援を受け、幾多の変遷を重ね、着実に発展してまいりました。開校80周年記念式典並びに祝賀会のお知らせ

#### 【各種記念事業】

- 一、80周年記念誌発刊  
(80周年記念式典掲載)
- 二、トロフィー陳列棚
- 三、昇降装置付き懸垂幕設置
- 四、80周年記念芸術鑑賞寄席鑑賞
- 五、NORD 八十年祭で在校生へプレゼント
- 六、記念文具プレゼント
- 七、イリス弦楽四重奏団ミニコンサート
- 八、体育館にて 8/24 15:00

をしながら、多くの優秀な人材を輩出して今日にいたっております。現在までに、この学窓を巣立った卒業生は、16,426名を数え、各人有為な社会人として当地はもとより、広く道内外の各界各層においてめざましい活躍をしております。

開校80周年を迎えるに当たり、過去の足跡を讃へ、未来の更なる発展を期することは誠に意義あることと存じます。ここに同窓会、PTA、教職員一同相計り、開校80周年の記念式典に協賛し、記念事業等を遂行するため、平成29年9月20日に「北海道深川西高等学校開校80周年記念事業実行委員会」を発足することになりました。

つきましては、この趣旨を理解し、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 会議日程

第一回実行委員会

#### 八、講演

高田田基(54期)  
100kmマラソン  
岡下亜古(64期)  
JAL勤務CA

現在、それぞれ日程を調整中

#### 九、その他、協賛事業あり

#### 【記念式典】

日時 平成30年10月20日(土)

【第一部】 9:30~10:30

【第二部】 11:00~12:00

場所 北海道深川西高等学校体育館

式典

第一部では全校コースがあります。第二部で寄席の鑑賞を行います。

#### 祝賀会

日時 平成30年10月20日(土)

14:00

場所 プラザホテル板倉

- 2017年10月20日 第二回実行委員会
- 2017年12月7日 第三回実行委員会
- 2018年2月15日 第四回実行委員会
- 2018年6月1日 第五回実行委員会
- 2018年8月23日 第六回実行委員会
- 2018年9月13日



#### 【同窓生の皆さんへ】

開校80周年記念式典への参加案内  
尚、記念式典への参加を希望される方は当日参加でもOKです。是非とも多くの同窓生の方々の参加を希望します。

開校80周年記念祝賀会への参加案内  
祝賀会への参加は準備の都合上事前申し込みとなります。

実行委員会から同窓生の皆様には協賛金の依頼書を送付した折での申し込みとなっておりますが、お忘れになっている方やその後日程の都合のついた方は9月10日(締切厳守)までに入金をお済ませいただきますようお願いいたします。

会費は3,000円となっております。

記念式典 祝賀会会費振込先

深川郵便局

口座番号 027200471258

口座名称 北海道深川西高等学校

開校80周年記念事業

### イチイの樹の移植

旧校舎の中庭に植えられていたイチイの樹は新校舎建設と共に道々治いと校舎の窓際に植えられて現在まで来ています。数年前から弱りかけていた3本の樹が完全に枯死した為移植を検討してまいりました。開校80周年記念を迎えるに当たって枯れたイチイをそのままにしておくのもみっともない、かといって抜いてしまおうと間が抜ける、と思索してまいりましたが、この4月から使用を開始した新築なった深川中学校で庭木を処分すると言う事で適当な大きさの樹を3本選別、取り急ぎ5月26日に移植作業を行いました。ほとんど従前と見分けがつかないまでに修復致しました。80周年記念事業ではありませんが80周年をすげすげしく迎えると言う事で御紹介しておきます。



### 同窓会名簿・2018の作成

開校80周年記念を迎えるに当たって事業の趣意書の送付や式典・祝賀会の案内には住所の確認が必要不可欠なことから、同窓会の重要事業で5年ごとに作成している名簿作成ですが70周年を迎えたときと同様に実行委員会の設立前に着手いたしました。実行委員会と同時に進行でしたが作業は進み同窓生の皆様のご協力により無事終了を見ました。今回も大変お世話になりました。

# 市内の公立高校存続の危機

多いときには全校で900余人も学んだ西校も時代の流れと共に生徒数の減少は目を覆うものがあります。当時は秩父別、深川農業、妹背牛、沼田と北空知の各地に高校は存在していました。それが一校、又一校と廃止されてきました。今号は同窓生の皆様とこの現状をお知らせしたいと思っております。西校同窓会の会報で「公報」思ふかがわ」の掲載記事の全文を載せたいと思います。

## 【深川市の公報】2018年6月号より転載

市内公立高校 2校存続に向けて  
市内公立高校の2校体制の存続が厳しい状況に置かれています。今年の深川東高等学校と深川西高等学校の入学人数が定員を大幅に下回ったことから、北海道教育委員会「再編を含めた定員調整の早急な検討が必要」との認識を示しました。両校を取り巻く状況や市の取り組み、2校体制の存続に向けて考えていきます。

## 入学者数が大幅減

この春、市内公立高校2校への入学者数が大きく減少しました。深川東高等学校は昨年度の60人から25人減の35人に、深川西高等学校は、昨年度の122人から43人減となる79人の入学者数に留まり、学級数も従来の1学年4学級から2学級へと大幅な減少となりました。

入学者数が減少した要因の一つは、市内の中学校卒業生数の減少が挙げられます。特に今春は前年度より32人少ない1355人の卒業生数で大幅な減少となりました。来春の市内中学校卒業生数は、今年に比べ約30人増と例年並みの人数には戻りますが、その後は再び減少傾向に転じます。

このほか、滝川市や旭川市など、市外の公立高校などへ進学する生徒が増えていることも要因の一つです。その数は年々増加傾向にあります。今年のように中学校卒業生数が大幅に減少した年であっても、市外への進学は、昨年度の60人から67人へと増加。それに伴い、市内2校への市内からの入学が大幅に減少しています。

## 北海道教育委員会の動き

両校を設置する北海道教育委員会では、本年3月に策定した「これからの高校づくりに関する指針」の中で、高校配置の基本となる考え方として「可能な限り1学年4学級、1学年3学級以下の小規模校を統合することで再編していく考えを示しています。また、公立高等学校配置計画では、平成

32年度に深川東高等学校を1学科減とすることが示されたほか、深川西高等学校についても、入学者数の減少に伴い本年度の間口（1学年の学級数）が4学級から2学級へ削減され、今後の状況によっては、来年度の間に口が回復されない可能性もあります。さらに、本年4月25日に経済センタールで開催された北空知学区の公立高等学校配置計画地域別検討協議会では、「深川市内の2校は、望ましい規模を下回っており、定員調整の早急な検討が必要」とした北海道教育委員会の認識が示されました。

## 地域をあげた取り組みへ

このような状況を受け、市では、市内の小・中学校および高校の学校長やPTA会長などが集まり、本年5月21日に「市内公立高等学校のあり方に関する意見交換会」を開催し、市内2校の現状や北空知学区の状況などについて情報交換を行うとともに、両校の生徒確保に向けて意見を交換しました。また、市や市校長会、市PTA連合会などの連名で、北海道教育委員会に対して、深川西高等学校の閉校を求めるとして、深川など、地域をあげた取り組みを進めています。

## 北海道新聞より

H30/6/12 転載  
今春の入学者数激減のため、1年生の学級数が4から2に減った深川西校について、深川市の山下貴史市長は8日、北海道教育委員会を訪れ、来春も4学級を募集するよう同校PTAなどと連名で求める請願書を佐藤肇大教育長に提出した。

## 2校を無くせない理由

深川東高等学校は商業と農業の専門高校として、また深川西高等学校は普通科進学校として、それぞれ異なる特色を有しています。両校はこれまで、その特色を生かして地域と連携した教育活動を進め、地域で活躍する人材を多く輩出してきました。特色の違う2校が存在するからこそ、それぞれの分野で活躍する多彩な人材を育成し輩出してきたといえます。

また、定員調整などにより、地元中学生が市内の高校に通学できない事態が生じた場合、市外への通学に伴い、生徒の活動時間の減少や保護者の経済的負担の増加なども懸念されます。そして何よりも、地元中学生の進路の選択肢を狭めることにもつながります。

## 2校体制の存続に向けて

人口減少や少子化の影響により、市内公

立高校への入学者の確保は年々厳しさを増していますが、このままでは市内2校体制の存続は厳しい状況を迎え、地域の将来にも重大な影響を及ぼしかねない事態となり

地域の未来を担う人材を育成する両校は、本市にとつてかけがえのない存在です。子ども達の将来の選択肢を確保するために、市では、引き続きそれぞれの高校の魅力ある取り組みを支援するとともに、関係者との意見交換などを行い、現状の2校体制の存続に向けて取り組んでいきます。

## 「これからの高校づくりに関する指針」で示された小規模校の取り扱い

- 第1学年3学級の高校  
可能な限り望ましい学校規模となるよう近隣の高校と再編
- 第1学年2学級以下の高校  
原則として、下記①③④などを総合的に勘案し、順次、再編整備
- ①通学区域における中学校卒業生数の状況・学校規模
- ②募集定員に対する欠員の状況・地元からの進学者
- ③通学区域における同一学科の配置状況

## 公立高等学校配置計画（抜粋）

- 深川東高等学校  
平成32年度 学級減 ▲1（学科検討中）
- 深川西高等学校  
平成30年度 4間口↓2間口  
平成33/36年度の見通し
- 深川市内において、再編を含めた定員調整の検討が必要  
(計画期間：平成30～32年度、平成30年3月現在)

## 【両校の概要】

- 深川東高等学校  
商業・農業の専門高校
- 進路決定率100%を達成
- 専門指導で資格取得多数
- 深川東高等学校は、商業と農業の学科を有する実践的な学習活動により、地域を支え、産業の発展に貢献できる人材を育成しています。
- 卒業生の進路は、約40%が大学や短期大学、専門学校への進学、約60%が就職となっており、平成29年度は進路決定率100%を達成しています。
- 流通経済科と情報処理科では、簿記や情報処理など商業の基本を学ぶほか、流通経済科では商品が生産者から消費者に届くまでの流通ビジネスについて学習し、情報処理科ではパソコンをビジネスに活用するための知識や技術を学びます。
- 生徒は、簿記や情報処理、ビジネス文書など

の資格取得に取り組み、昨年度は3種目で1級を取得した生徒2人が、全国商業高等学校協会の表彰を受けています。

また、地元企業に生徒自らが足を運び、「課題や問題点を企業と共に考え解決を目指す」「課題研究」では、昨年度、移住促進策をテーマに研究したチームが、「住んでみた！北海道進進会議」主催のコンテストで、見事最優秀賞に輝きました。

生産科学科では、農産物・草花の栽培方法や加工品の製造について学び、さらにそれらから一連の流れが実践的に学べます。生徒が栽培した原材料で製造したパンやトマトジュースなどの加工品は人気が高く、即売会ではすぐに完売となります。このほか、青空園芸教室など地域と連携した学習も進めています。

JICA交流事業では、毎年、南アフリカ諸国から農業技官が来校し、親善交流を深めています。また、農業クラブ活動では、昨年度、農業鑑定競技において全国大会出場を果たしました。

●50科目を超えるコース別 選択制  
●部活動は全国レベル  
●生徒主体の全校行事運営  
●生徒主体の全校行事運営  
●生徒主体の全校行事運営  
●生徒主体の全校行事運営

は、旧制中学校からの伝統である「質実剛健」「文武両道」の精神を受け継ぎ、生徒は勉強や部活動、学校行事に一生懸命に取り組んでいます。

卒業生の進路は、おおむね国立大学や看護学校などへの進学が80/90%、公務員などの就職が10/20%となっています。

進路指導では、希望分野別に行う「進路講演会」や、大学生と進路について語り合う「カタリ場」などを実施し、入学後早期に将来に向けた目標設定ができるよう指導しています。

また、長時間勉強に打ち込む「耐久勉強会」や、「放課後講習」長期休業期間(夏・冬・春)講習などの学力向上対策にも力を注いでいます。深川西高等学校では、多様な進路希望に対応するため、2年生からコース別の選択授業を行っています。コースは「国立大学(文系・理系)」「私立大学・短期大学(文系・理系)」「専攻科・公務員・就職」の5つで、希望の進路に応じた50科目を超える選択科目が設定されています。英語や数学など、習熟度別授業を取り入れており、一人一人の理解や進度に応じた授業を行い、学力向上に努めています。

スは全国選抜大会で見事3位入賞に輝きました。ほかの部・局も数多く全道大会に出場しており、活発に活動しています。

## 市の支援内容

- ①模擬試験・資格取得試験の受験助成
- ②学力向上に向けた助成
- ③通学交通費助成
- ④将来の目標・意識付けのための進路講話などの開催経費を全額助成します。
- ⑤PR助成
- ⑥PR助成
- ⑦PR助成
- ⑧PR助成
- ⑨PR助成
- ⑩PR助成

資格取得のための養成講座の受講料や英語力強化のためのテスト受験料を助成します。

通学距離が片道6km以上の生徒の通学定期券購入代金の一部を助成します。定期券購入代金から一定額(鉄道月3,000円、バス月5,000円)を差し引いた額の3分の1を助成します(1人年額5万円限度)。

市内公立高校がそれぞれ進めている学校の魅力づくりに向けた取り組みを支援しています。具体的な支援内容は次のとおりです。

市内公立高校がそれぞれ進めている学校の魅力づくりに向けた取り組みを支援しています。具体的な支援内容は次のとおりです。

市内公立高校がそれぞれ進めている学校の魅力づくりに向けた取り組みを支援しています。具体的な支援内容は次のとおりです。

市内公立高校がそれぞれ進めている学校の魅力づくりに向けた取り組みを支援しています。具体的な支援内容は次のとおりです。

## 過去5年間の入学者数の推移 (単位:人)

学校名	年度	深川市内から	北空知各町から	その他市町村から	入学者総数
深川東高等学校	H30	6	9	20	35
	H29	25	13	22	60
	H28	22	7	13	42
	H27	21	8	9	38
	H26	20	17	33	70
深川西高等学校	H30	41	16	22	79
	H29	71	35	16	122
	H28	63	44	28	135
	H27	74	39	17	130
H26	57	40	29	126	

※北空知各町は妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町、雨竜町の合計

## 深川市内中学校卒業生の進路先 (単位:人)

進路先	卒業時期	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3
市内公立高校		95	85	96	46
市外公立高校 (高等専門学校含む)		52	57	60	67
その他進路先		16	20	11	22

※各年度3月時点のため実際の入学者と差があります。



2017年7月6日



2017年12月7日



2017年12月22日



2018年5月2日



2018年6月7日



2018年6月8日

### 同窓会総会開催報告

5月23日、プラザホテル板倉にて第75回深川西高校同窓会の総会が開催された。大西会長挨拶の後、阿部校長から新任の太田 徹教頭の紹介があり引き続き学校の現状報告がされました。会議の議長は20期の小川広見さんに務めていただきそれぞれ承認されました。80周年の進捗状況の報告や事業への協力をお願いして総会は終了いたしました。

### 平成29年度事業報告

- 自・平成29年4月1日  
至・平成30年3月31日
- 1、会議・行事に関する事項  
〔平成29年（2017）〕
- 4月8日・平成29年度（第72回）入学式 入学生 121名
- 4月12日・転入教職員歓迎会 転入者7名
- 5月9日 役員会 参加者45名
- 5月23日・第74回定時総会
- 7月31日 役員会
- 8月30日・同窓会会報第九号発行
- 10月9日・第8回の卒業記念植樹挙行（第70回生「キハダ」）

### 〔平成30年（2018年）〕

- 2月26日・同窓会入会式 入会者120名
- 3月1日・第70回卒業式 卒業生120名
- 3月24日・転出・退職教職員送別会 転出及び退職者8名

### 【同窓の集い】

8月4日・第1回同窓の夕べ打合せ  
末尾0期 実行委

9月8日・最終打ち合わせ券集約等  
9月16日・同窓の夕べ  
参加者・212名  
同日、第三回・同窓親睦ゴルフ大会開催

11月15日・同窓の夕べ反省会

### 【参考】

- 30年4月25日・会計監査
- 30年5月10日・役員会
- 2、会報の編纂
- ①8月30日第九号発行（通算・第19号発行）

### 3、母校の後援に関する事業

- ①10年計画による前庭の植栽の点検（10年目）
- ②体育系・文化系共に全国大会、全道大会へ出場する生徒へ支援
- ③10月9日・卒業予定者8名による記念植樹「キハダ」
- ④プレス幕の貸与、会旗、部旗、健闘幕作成貸与
- ⑤その他

### 4、会員相互の親睦、交流に関する事業

- ①同窓の夕べの開催（上記報告済み）

### 平成29年度 一般会計決算報告

収入の部		
項目	金額	備考
前期繰越金	2,775	
入会金	180,000	120名×1,500円
振替金	100,000	宮脇基金より
雑収入	1,450,436	会報協力金等
合計	1,733,211	

支出の部		
項目	金額	備考
総会費	95,094	
役員会費	22,604	
会議費	39,052	同窓の集い実行委員会
交際費	328,500	全国・全道大会、歓送迎会
事業費	1,144,861	会報、吹奏楽等
通信費	4,680	
印刷費	6,842	
広告宣伝費	0	新聞広告
事務費	0	
雑費	2,484	振込料等
次期繰越金	89,094	
合計	1,733,211	

②各支部現況報告（同窓会会報にて報告）

③各期の動き（同窓会会報にて報告）

④親睦交流ゴルフ大会の開催

⑤その他

5、同窓会林に関する事業  
委員会報告（別記）

6、その他、本会の目的達成のため必要な事業

写真パネルの貸与・会報の送付・プレス幕、闖魂旗、闖魂幕の貸与、その他

③各期の動向把握の強化  
各期の幹事の確認作業推進

④HPの更新作業、深ナビへの情報更新

⑤その他

5、同窓会林に関する事業  
①「緑の学び舎連営委員会」の運営  
②森林組合との情報交換。連携強化  
③その他

6、その他、本会の目的達成のため必要な事業

### 平成30年度事業計画

- 自・平成30年4月1日  
至・平成31年3月31日
- 1、会議・行事に関する事項  
例年通り実施
- 2、会報の発行・名簿の作成事業  
①第10号の発行予定  
②会員名簿の発行（2018年発行予定）
- 3、母校の後援に関する事業  
その都度、必要に応じて対応  
第9回卒業記念植樹の開催：10月7～8日を予定。
- 4、会員相互の親睦、交流に関する事業  
①同窓の夕べ開催  
②各支部との連携の強化 特に札幌、関東

### 第三回同窓会親睦ゴルフ大会

2017年9月16日「同窓の夕べ」の前段で開催している同窓会親睦ゴルフ大会は「0」期の小川広見・実行委員長の手配で38名の参加を得て楽しく開催することが出来ました。夕べの会場で表彰式が行われ大西会長より優勝・石川裕基さん（52期）、準優勝・松本豊さん（18期）に賞品が授与されました。

又、当日同じ会場で野球部OB会が毎年開催されています。



表彰

# 各期動向報告

(カッコ内は情報提供者・敬称略)

## 〔旧中一期〕

先輩も九十三歳の年齢になり、連絡が取れない状況です。自然消滅。

## 〔旧中二期〕(旧制深中2期会)

平成14年を最後に同期全員の開催を取りやめとし以後2、3年ごとに有志で開催していたようですが、さらに高齢になり、開催なし。情報提供者もいない状況です。

## 〔旧中三期〕(旧制深中3期同期会)

毎年開催。十七年には記念誌「俺の足音」を制作。十九、二十一、二十二も九月札幌にて開催。危ぶまれた二十三年、二十四年も十月に開催。二十五年十月開催を最後として区切りをつけた。深川市内の有志は年に一回集まっている。(利波 清一)

## 〔旧中四期〕(旧制深中4期生)

平成十五年と二十年 故・中島武敏(元代議士を囲んで(ふれあい会館)集まったのが最後。全体の集まりは高齢の為、開催していません。今後の予定もなし。(波多野 栄)

## 〔旧中五期〕(旧制深中5期会)

十五年鎌倉。十六年函館。十七年札幌。十八年美唄。十九年六月深川。十月台湾へ修学旅行。二十年には開校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。二十一年以降は津田氏が亡くなったため、札幌・平林さんが後を引継ぎ札幌で集まっているが、集まるのが難しくなってきたため二十七年に記念のエッセイ集を二集出版した。

## 〔一期〕

平成六年岩見沢市、七年滝川市、八年幌新温泉一泊、九年箱根・東京2泊、十年深川市、十一年定山溪温泉、十二年滝川、十三年岩見沢、十四年深川、十五年札幌、十六年滝川、十七年札幌開催を最後に取りやめ。以後開催なし。(中村 隆志)

## 〔二期〕(旧制中学7期・深川西高2期の集い)

毎年秋に開催してました。東京、札幌、深川持ち回り。十二年は卒業五十周年で札幌、十三年はホテル館、十四年は東京、十五年は札幌、十六年は深川。二十年「喜寿の集い」をもって期友の会を打ち上げしました。その後、関東、関西、北海道全域から同志が集まり一泊で温泉旅行を開催二十名参加。三十年の誕生日で八十七歳。(大久保博夫)

## 〔三期〕

東京は毎年開催。札幌は随時開催。深川は三名ですが元気なし。平成十二年を最後に開催していません。(大鎌 幸雄)

## 〔四期〕(深川西高第4期生同期会)

札幌ではなんとか毎月集まっています。代表・宮脇 敬  
札幌ではなんとか毎月集まっています。代表・宮脇 敬  
を深め無事を確認し励ましています。十六年札幌は六月、東京・四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、十八年札幌開催。十九年五月定山溪で、卒業五十五年で偶然にも五十五名が参加。二十年六月札幌。二十二年六月「喜寿を祝う同期会」を開催。同期生全員に案内するのはこれが最終回でしたが二十三年六月二十日開催。二十四年も六月に開催いたしました。(佐藤 範子)

## 〔五期〕

不定期開催。最近では開催なし。(南 進)

## 〔六期〕(西高29会) 代表・永野慶昭

われらも八十四歳となりました。深川支部は29会なので毎年六月二十九日に開催して毎年旅行を実施したり昼食会を行っていました。昨年総意を得て解散いたしました。札幌勢は年に六回集まり、東京勢は年一回集まっています。全体での開催は十七年札幌が最後。(平田 廣美)

## 〔七期〕(深西7期同期会)

三年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催、板倉に六十人参加。十七年は五十年を札幌にて八月開催、五十人参加。二十年旭川。二十三年九月五日深川で開催。二十六年九月札幌開催。二十七年、二十八年と深川で連続開催。(手島 克)

## 〔八期〕

不定期開催。20年6月札幌第一ホテルで開催。高齢となり最後の同期会と言うことで65名参加。それ以後は各クラスやグループが少人数で開催。21年8月深川在住者。9月には札幌で開催した。(清水 義弘)

## 〔九期〕

代表世話人・仲野勝介  
10年深川・12年旭川・14年札幌・16年北竜 18年東京。毎年開催の意向を受けて19年秋に定山溪、小樽。19年3月深川在住者で開催。20年9月深川開催。「ゆう&ゆ」に47名。23年9月4日沼田ほろしん温泉にて全体の同期会を開催しました。24年5月8日、東京方面でミニ同期会。5月9日市内在住者のミニ同期会でパークゴルフの会を開催。秋には東京で全体の同期会を開催。25年は7月10日旭川で開催。26年10月15、16鬼怒川温泉で23名参加開催。27年は開催しませんでした。毎年市内在住者で同期会開催。昨年に引き続き今年も9月に予定。(倉嶋 克郎)

## 〔十期〕(深川西高第10期同期会)

代表世話人・高橋国男  
十五年六月に四十五周年記念として北広島で開催。二十三年十月二十日定山溪温泉にて五十八名の参加で旧交を温めました。二十六年十月十八日、十九日札幌にて開催。参加者四十五名。三十年七月三、四に札幌第一ホテルにて卒業六十周年を最終として開催しました。(別項記載) (星野 友雄)

## 〔十一期〕

十二年八月還暦記念を深川で開催、十六年は八月札幌七十名。十八年十月深川で開催。二十年札幌。二十七年深川で開催。(中井幸太郎)

## 〔十二期〕(西高35年卒同期会)

十三年秋、還暦同期会を開催、参加五十八名。十八年小樽にて開催。二十二年六月深川にて開催。(板倉 克宏)

## 〔十三期〕(三六会・サボロウ会)

代表・吉川 保  
H十年HP開設 M L(倉山昭男)  
<http://www2.big.or.jp/~yycub/>  
<http://www.egroups.co.jp/group/36KAI>  
十四年六月還暦記念同期会を開催、板倉。二十年開催。二十二年六月秩父別温泉「ゆう&ゆ」で開催。二十八年七月札幌で開催。三十年六月三十日、秩父別ゆう&ゆで開催します。(別項記載) (佐藤 豊秀)

## 〔十四期〕

16年5月還暦同期会を開催。深川ホテル  
20年2月天人峡パークホテル。21年9月13日深川にて開催。同期生76人、恩師3名。24年9月13日札幌支部による発起人で開催。27年1月、新年会を札幌で。深川近郊同期会を28年5月、9月に開催。首都圏同期会を28年

10月に開催。

## 〔十五期〕(深西38会)

代表・菅原明義  
札幌・吉田 裕、檜山秀紀  
以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山溪グランドホテルで開催、六十三名が出席。二十六年に古希の祝いで開催。喜寿は三十二年なので、その間で一回開催予定です。(菅原 明義)

## 〔十六期〕(深川西高16期卒業同期会)

代表・星野 孟  
五年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。二十一年九月開催。二十三年十月十日板倉にて開催しました。次回は二十六年六月二十二日に卒業五十年で開催。二十九年六月深川にて第十一回同期会を開催。(星野 孟)

## 〔十七期〕(高17期同期会)

十二年に板倉、十七年八月板倉で開催。四年に一回開催が約束だが二十七年十月に卒業五十年に当たり前倒し開催。毎年、秩父別で一泊ゴルフで親交を深めている。(濱田 靖夫)

## 〔十八期〕(猪子会・いのね会)

代表世話人・宮岸徹二  
17年9月札幌にて開催60名。20年10月、富士屋にて開催60名。東京組は随時開催で20年は9月。札幌組は随時集合。深川組は毎年夏冬と開催している。23年10月16日、札幌にて開催。26年7月12日開催。29年7月8日深川開催。(深沢 淳子)

〔十九期〕(深川西高19期卒業同期会)

代表・千葉憲一  
五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧駒別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で還暦同期会を十月開催。二十五年九月二十三日北広島にて開催。二十九年五月二十七日北広島にて八十二名の参加で開催。

(寺下 良一)

〔二十期〕(深川西高第20期卒業同期会)

代表・児島俊一  
四年に一回の夏期五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加(深川ホテル)。十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。

(小川 広見)

〔二二期〕

十四年八月。十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決めた。二十六年九月二十日札幌にて開催。次回開催は平成三十年深川開催決定。

(小川 広見)

〔二三期〕

代表世話人・坪田邦光  
十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。  
二十四年六月三十日板倉にて卒後

(松原 和男)

〔二四期〕

代表・広上  
十二年卒後三十年で開催。参加六十名(日の出)。二十年八月札幌開催。二十七年深川で開催。

(松原 和男)

〔二五期〕

代表世話人・坪田邦光  
十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。  
二十四年六月三十日板倉にて卒後

四十年を記念して開催。

(巒田 光章)

〔二四期〕

十四年札幌、十六年六月深川(日の出)にて開催三十五名。十七年六月札幌にて連続開催。二十年六月「まあふ」にて開催。二十五年十月五日、京王プラザホテルにて卒業四十一年で開催。八十名出席。現在は二年に一回で開催している。札幌で三十年十月に開催する。

(伊藤 政雄)

〔二五期〕

代表・齋藤博幸  
十四年十一月に札幌にて開催。七十名参加。二十六年十一月還暦同期会を札幌にて開催。参加者八十名。

(矢野 正樹)

〔二六期〕(49年卒業同期会)

代表・渡辺 純  
十六年は卒業三十年で九月札幌にて開催。百名参加。同窓の夕べの実行委員として携わったのを機に同窓の夕べの後に同期の集まりを持つこととしており、二十六年は二十人が集まり交流しました。二十九年六月二十四日開催。同窓会幹事二十九年度まで高瀬昌之、三十、三十一年度は松野正明が担当。

(高瀬 昌之)

〔二七期〕

十六年一月二日開催し七十四名参加。

(吉田利江子)

〔二八期〕(第28期同期会)

代表・三ツ井隆博  
三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。二十七年八月深川で開催。九十名出席。

(増永 博志)

〔二九期〕

(挽地 昌弘)

〔三二期〕

卒業二十年を十一年に深川で開催。百名。卒業三十年を記念して二十一年に出席者八十名で開催。二十六年十月に開催。

(宮沢 孝司)

〔三三期〕

二十四年一月二日、板倉にて二十八年ぶりに八十五名の参加者を得て開催しました。五年経過したので開催の方向です。

(三上 貴康)

〔三三期〕(元気でやっつる会)

代表・紺野浩治  
二十三年八月十三日(第四回)板倉にて開催。二十七年八月(第五回)を板倉にて開催。次回は三十一年度で開催。

(今西真理子)

〔三四期〕

卒業二十年を十四年に深川で開催。

(田中 一幸)

〔三六期〕(深川西高36回生同期会)

卒業二十年で十六年一月板倉にて開催。九十九名参加。卒業二十五年を二十一年一月に開催。二十三年十月一日に第三回同期会を開催致しました。深川西高校(第三十六期生)掲示板を開設中です。

(渡辺 哲男)

〔三七期〕

十四年に板倉にて開催

(佐藤 秀樹)

〔三八期〕

代表・佐々木  
四年に一度の開催で正月に深川で開催予定。

(西口 健一)

〔三九期〕

十三年二月、日の出会館で開催参加。四十四名。

〔四一期〕

代表・佐藤之彦  
二十一年一月二日に開催。二十五年七月十三日。  
三十年一月に開催予定。

(佐藤 之彦)

〔四二期〕

(広瀬 智史)

〔四三期〕

(日下 大輔)

〔四四期〕

二十三年四月に第一回を板倉にて開催。当初五十名以上の参加申込が東日本大震災の被災地支援の関係から消防、自衛隊など関連に勤務しているメンバーが参加できなくなり四十名余の参加となった。

(佐藤 自真)

〔四五期〕

二十三年六月十三日、プランシユネージュに五十人が集合。

(及川 賢二)

〔四六期〕

ご協力頂いた期の幹事の方や世話人の方には大変お世話になっております。記載の情報は前年までの情報に新たな情報を追加しただけの十五年間の積み重ねです。目新しい情報は数箇所しか追加されていません。

事務局では記載の期以外は把握できて居ません。きつと開催しているところもたくさんあるのだからと思います。情報の収集に努めていますし、各期の協力者を探し支援を頂きながら、それぞれの期の動向が今以上に判明するように努力しています。情報がなかなか望みがかないません。情報をお寄せ頂ければより充実した会報になるのですが、それぞれ期の幹事・連絡者の方に

は最新の情報を総会の案内の返信欄に記載して頂ければありがたく思います。ご協力よろしくお願致します。

第20回東京支部総会

日 時：平成29年10月21日(土)

16:00~18:00

会 場：千代田区霞が関3-2-5

霞が関ビル35F

東海大学校友会館「望星の間」

出席者：51名

報告

2年に一度の総会・懇親会を開催。今回も、若い方の参加がなく、毎回、寂しい限りですが、毎回、参加される、昭和20年(旧中3回生)卒の村中未隆先輩を始め、諸先輩皆様、御元気に参加されました。有難うございました。

東京支部では、若手、の、昭和50年卒、昭和57年卒の男女18名で、二次会へ、2019年10月予定の21回総会を若手に託したいと思っております。

(昭和50年卒/27回生：中村欣也)

東京支部役員名簿

支部長	草原 克豪 (高十二)
副支部長	堀口 正頭 (高七)
幹事長	玄番 英臣 (高十四)
副幹事長	関 肇 (高十一)
会計幹事	鈴木 大吉 (高七)
幹事	真鍋 整充 (高二十三)
	佐藤 京子 (高二十二)
	榮木 敏明 (高十六)
	越智 真琴 (高十九)
	林 忠 (高二十)
	木重 興一 (高二十一)
	川井 宏一 (高二十二)
	花岡 裕之 (高二十三)
	大西 晴樹 (高二十三)
	中村 欣也 (高二十七)
	杉村 豊 (高二十七)
	吉川 直明 (高二十七)
	村中 未隆 (旧中三)
	富原 一郎 (高)
監 査	
相談役	

# 我らの同期会

## 9期同期会報告

倉嶋 克郎(9期)

平成19年、地元元々の同期会を開催以來毎年続け、本年もその予定であるも高齢化に伴い市外者との交流も年々困難になることから北空知、旭川方面にも参加を呼びかけ9月5日プラーザ富士屋に15名の参加を得て開催した。

最初に全員での写真撮影、合田君の司会のもと開会。亡くなられた多くの仲間に対する黙祷 代表して倉嶋が挨拶を述べた。今回の返信で旭川の種房君(平成27年)、竹内忠尚君(平成28年)がなくなられた。市内でも今年百貫君、須藤君がなくなることから同窓会では会員名簿を作成すること、同窓会林の桜が開花するようになったが、野ウサギ、鹿等の被害対策に苦慮していることなどを報告した。今回このような方法で開催し市外から2名の参加を得た。明年以降も同様に進めたい、その時は知り合い等誘い合っって参加してほしいと依頼した。



深川西高校9期生 市内・近郊在住者同期会 2017.9.5 富士屋

小田君の乾杯で宴に入り、酒を酌み交わし、夫々近況を報告、更に学生時代の想いで等、時を忘れさせる一時を過ごした。最後は旭川より参加した橋本さん的一本締めで会を閉じた。

## 深西第十期 卒業六十周年記念同期会について

深川市 星野 友雄

- 一、同期会実施の経緯  
卒業三十周年を第一回として、事後概ね五年周期で実施しており今回が八回目になります。
- 二、時期  
平成三十年七月三十七時(泊二日)
- 三、場所  
札幌第一ホテル(南七条西二丁目)
- 四、参加人員  
三十九名(男性十九名、女性二十名)遠方から参加下さった方がいます。大阪の東淀川から石田浩道氏、関東地域から熊谷昭明氏と北木佳子さん、秋田から生徒会長長の松本勤氏、釧路から坂井純吾氏です。
- 五、幹事  
片山義広氏・原田修・鎌田昌男・高橋国男各氏・阿部伸子さん
- 六、内容



深西第十期卒業60周年記念同期会 平成30年7月3日 札幌第一ホテル

記念写真撮影・一次会・二次会・有志で三次会

幹事長の原田修氏の挨拶でこれまでの同期会の詳しい経緯、今回の同期会に五十名位参加予定であったものが急に不参加となった状況について次の通り説明があった。

- ※六月二十四日 葛原(旧姓木村)幸子さんが死亡
- ※片山義広氏(幹事・森谷尚之氏・島山光夫氏・志田ナギさんが体調不良 ※北道町の藤岡雅泰氏・音江の篠原有氏・雨竜川と石狩川の氾濫の影響
- 一、参加所感  
八十歳をまもなく迎える我ら十回生最後の同期会のもりで少々無理しても参加させていただきました。自分の年金、墓、遺産相続、健康のこと、配偶者、子供、孫のことなど喋りまわってストレス解消、楽しく和気あつた時間をお過ごしことが出来ました。参加した皆さん、とても喜んでおりました。また幹事の方々の周到な準備と心配りにも感謝申し上げます。本当に有難うございます。

次の同期会は来春らしいのでそれぞれで皆さん頑張りますよう！

## 深西36会(深川西高第13期生)近況報告

13期幹事 佐藤 豊秀

我が同期会の10年間の動きは、2010年(平成22年)6月、ちつぷべつ温泉「ゆう&ゆ」で50数名参加の下賑々しく開催され、それ以降は2016年7月札幌で開催。その後は各地区での同期会により連絡を取り合ってきました。今年に入り関東地区の有志が「同期の集い」を開催するなど連携の炎は燃え続けているようです。

さて、かねてより何かの節目での地元開催要望があり、地元有志が集まり検討の結果、喜寿を迎える仲間がいることや母校が開校80周年を迎えること等々、本年6月30日をこの日と定めました。会場は8年前と同じ「ちつぷべつ温泉」。当日は、田中・戸田の両恩師にご来臨頂き、遠くは東京・神奈川・埼玉・岩手からの5名を含め総勢33名の参加がありました。返信ハガキには体調不良や闘病中の様子が書かれ、奥様より2名の訃報も寄せられました。交流会では参加者が減少している現実の認識、健康寿命や今後の夢などの話も



## 同期会開催情報

### 第24期三二期会

平成29年11月11日(土) 札幌にて

38名の参加でにぎやかにを行いました。平成30年は私達も65歳となります。今年5年に一度の全体の同期会を開催する事になっております。何人の参加者になるか楽しみです。

### 9期同期会開催予告

平成30年1月記(大平由美子・記)

### 20期同期会開催予告

H30年9月 深川を中心に開催予定  
H30年10月 箱根一泊で予定  
冬季オリンピックの年なので東京幹事でH30年10月 箱根一泊で予定  
夏季オリンピックの年は深川で開催。東京オリンピックの年と重なる。

### 24期同期会開催予告

H30年10月 札幌で開催予定  
H30年10月 札幌で開催予定

## 開けし沃野 渺々と

2010年10月24日に3本の釧路八重桜を植えました。年を重ねることと歩みが確実にわかります。物干し竿程度だった樹の幹も今は三寸五分の煙筒程の太さになりました。昨年は花も沢山つきました。油断をしていたわけではありませんでした。左記の事態が発生し樹形が一変しました。今年も春が早く来ましたが、左記の事情により花数が少なくなり回復には時間が必要です。

開校80年ですが、8年間の桜の歩みを見て80年の重みを一層感じています。

釧路八重罹患樹の処置：虫と病気で：2017年6月24日

桜の研修で来ていた金田樹木医に校庭の桜の状態を見てもらったところ、やはり心配していたように「テング果病」との診断を下された。一番南側の桜の木が罹患した木なので一昨年着雪で曲がった幹を添え木でまっすぐにしたのだけれど曲がって伸びてしまった幹面から病菌が侵入したようだ。見た目には健康そうな葉だけれどところどころに散見される葉先の黒くなった状態は紛れもなく病変状態とのこと。金田さん自身も釧路八重で「テング果病」に侵されている実物は初めてのことでどうか。しかも健康そうな葉を出して病気をカモフラージュしていて、実に巧みな状態を演出していると診断された。すぐに切除をして焼却処分するか治療法はないとのことと止むなく

# 第8回 卒業記念植樹

第70回(H30年3月)卒業予定者 2017年10月9日

参加者 学 校・佐々木教頭・高橋先生・原先生

生徒8名・柴垣保志・毛利晟汰・木村里久・南洋輔・大廣有紗・

安藤 碧・庄司 光・吉澤優作

同窓会・坪田、堀川、岡部、篠原、石川、寺前、溝口

空知総合振興局森林室砂川事務所長・石川博道



早朝は平野部に雲海が流れていたが、次第に暖かい陽射しに恵まれた。展望はかすみ気味で、委員は午前中の冬囲い作業が順調に進み展望を眺めながら生徒を待つ。

生徒は11:30集合でマザーズカンントリーに向けて出発。昼食はシカ肉、落葉各種フライ、スープ、混ぜご飯、スイーツと目の前に並ぶ。食後のコーヒー飲み放題に満喫。

12:20マザーズ出発。12:45会場に到着。少し風が強いが風上には樹林があるがいつの間にか霧が頂上から下りてきた。

坪田委員長から挨拶。本日の開催に對して同窓会長に代ってお礼を申し上げる。7回目となること。樹種の「キハダ」の説明や樹を植えることの意義等の説明がある。引き続き特別参加の空知総合振興局 森林室・砂川所長の石川さんから植樹の心得と植樹の仕方を話してください。何年か経ったときにこの会場を訪れてほしいことや植樹に際しての説明を終えて植樹作業に掛かる。

4人1組になって土を寄せる。廻りに水を注いで根と土の間にすぎ間が出来ないように灌水を行う。添え木は既に立てられていて、後はしっかりと縄で苗木を固定して植樹は終了となった。全員で集合写真を撮り作業は終了となった。

恒例により沖里河展望台に行くのでバスに乗り込む。どんどん雲が下がってくるが展望台を目指す。階段を登りきると頂上。真っ白で何も見えないが予想より暖かい。全員で記念撮影をして再訪を伝えて頂上を後にし、駐車場のバスへと向かって階段を下りたのであった。頂上はあいにくの天候で眺望は残念無念だったがこれからの人生でも色々のことがあるので眺望が悪かったこともよしとしよう。



集合写真



事前説明



植樹風景



植樹風景



沖里河山頂上にて



5月8日開花

切除の決断をする。切った後トップジンペーシトを塗布して作業終了。樹形がさみしくなって残念だがこれで他に転移していなければよしとしなければなるまい。今後は頻繁に点検して廻らなければいけない。

ついでにと他の桜の木も見て回るとなんと北側の一本が背丈より上の方の幹に脂を吹いているのを発見。昨日の研修でコスカンバが樹皮に入りこんで胴枯れ病の菌が入り込んでいるとの話があったのでこの枝も切除することとした。残念だが将来駄目になるなら早めに処置をして健康体に戻さなければいけない。已むを得ない処置と言うことで作業を進めた。脂の吹いているところの表皮をカッターで剥いてみると褐色に変化して明らかに病変の様相を呈している。

予防はこまめな点検で早めに変化に気づくことが重要だ。手遅れになって年を重ねていくと取り返しがつかないことを今回の研修で教わった。

# 第二十二回 同窓の夕べ盛大に開催

同窓の夕べも21回を積み重ねました。  
司会：常木直美さん（40期）  
開会に先立っての挨拶

実行委員長：児島俊一さん（20期）  
学校長挨拶：阿部校長

恒例になった吹奏楽演奏もメンバーが少なくなつたものの元氣よく演奏し、大西道祥同窓会長から一言あって、開校80周年記念協賛会 会長・渡辺一義さん（6期）の音頭で乾杯となる。

楽しいイベントはじゃんけん大会（30期）同窓会お名前ビンゴ（40期）大抽選会は50期の担当で例年通り盛会裏に行われた。途中でゴルフコンペの表彰式を開催。時間も押していて、興奮は収まりつつ出席者全員で校歌の斉唱。最終章はタスキの引き渡し。児島俊一・実行委員長より梶川寛・次期実行委員長に引き継ぎ、メの挨拶と次回への決意表明。更に引き継ぎ次年度も皆さんに参加して欲しいと呼びかけをして楽しく、美味しく、酔っぱらって終焉となりました。終了後それぞれ街中に繰り出し同期で盛り上がった期もあったようです。参加の皆様大変ご苦労様でした。



受付風景



じゃんけん大会



阿部校長挨拶



大西会長挨拶



児島実行委員長挨拶



司会 常木直美さん



大抽選会



吹奏楽部演奏



乾杯は渡辺一義さん



次期梶川 寛実行委員長挨拶



タスキ引き継ぎ



旧中校歌斉唱



校歌斉唱

## 同窓の夕べ 開催のお知らせ

第二十二回「同窓の夕べ」を次の通り開催致します。

日時 平成30年9月15日（土）  
開演 午後6時（吹奏楽部の演奏）  
開会 午後6時半  
会場 プラザホテル板倉（深川市3条6番）  
会費 2,000円（当日券あります）

実行委員会は二十一期、三十一期、四十一期、五十一期、六十一期が担当です。実行委員長は二十一期の梶川 寛さんです。

九月の第三土曜日に固定され、ゴルフコンペも同時開催でいよいよ楽しめる一日となりました。趣向を凝らした進行と催し、考え抜かれた賞品の抽選会での盛り上がりで親睦を深めています。都合を付けてこの日程に合わせて参加して戴けたら嬉しいです。多くの同窓生の参加をお待ちいたしております。



今回はコーラス大会での阿部校長と山田生徒会長の挨拶をご紹介します。と思います。

## 第62回コーラス大会 〜未来へ響く歌声

校長 阿部 穰

深川西高校で最も伝統のある学校行事の一つである「コーラス大会」の季節となりました。校長室に残る記録では、昭和31年2月に「コーラスコンクール」開催の記載があり、さらに翌年に現在の名称である「コーラス大会」として歩み始めたことが記されています。

62回目となる今年度のコーラス大会は、開催時期が6月となったことや1年生のクラス数が減少したことなど、ここ数年とは違う状況の中の練習スタートとなりましたが、山田生徒会長を筆頭とする執行部の見事なリーダーシップのお陰もあって無事本日を迎えることとなりました。校長室にはコーラス大会がスタートした昭和31年当時の旧校舎を縮小した模型があります。卒業生の方のお話では、広い中庭と緑の木々に囲

まれた、木のぬくもり溢れる美しい校舎だったそうです。その木々の一部は現在でも校舎前に残っているの

で雰囲気や想像できると思います。また、昼休みや放課後には中庭から歌声がよく聞こえていたということ

です。校舎の模型を見る度に、この中庭でどのようなハーモニーが響いていたのだろうかと思像しています。美しい歌声が一本の樺のように62年間引き継がれてきたとも言えるでしょう。

生徒の皆さんもご存じの通り、今年度は深川西高校が創立80周年となる年でもあります。是非ともステージ上では、この記念すべき年に伝統あるコーラス大会に参加できる喜びを感じながら90年、100年へと続く深川西高校の未来へ歌声を響かせていきましょう。

### [Let's sing a song]

生徒会長 山田 瑠架

遂に深西三大大行事の一つであるコーラス大会がやってきました!!

新学年、新クラスになって初めての行事です。変則的で少ない練習期間、去年とは違い生徒数も少なく、男女比が激しく、なかなかきれいに歌がまとまりにくいクラスがある中で、どれだけ完成度を高めることができたか!?が、このコーラス大会の鍵となります!

今年度は創立80周年という節目の年でもあります。今まで先輩方が築き上げてきたものをこれからも受け継

ぎながら、自分たちらしい深西を作りあげていきましょう!!そして、どのクラス、どの連台も心を一つにし、美しく、感動できるようなハーモニーを会場にいる全員にプレゼントしましょう!!

最後に、保護者や地域の皆様、本日はお忙しい中にもかかわらず足を運んでいただきありがとうございます。是非、最後まで「コーラス大会」を楽しんでいって下さい!

### 【第六十九回学校祭】 今年のテーマは

英雄

〜自分達が作り上げる物語〜

#### 日程

七月七日(土) 開祭式・合同演劇・吹奏楽・アンピール

七月八日(日) 緑日・有志発表・クイズ大会・特別公演

行燈行進・行燈フィナーレ・花火大会

七月九日(月) 後片付け・閉祭式で結果発表

不順な天候が続いた中でも好天に恵まれ三年生は最後の祭り。溢れるような若さがはじける空間です。色彩豊かな行燈行列では「エーサツサ、エツサツサ」の声を掛け合いながら昔と同じように市内を練り歩きます。掛け声が街中を響かす中、行灯に火が灯ると更に輝きを増します。夕日が西に沈むとともに学校へと歩みを進めます。帳が下りる中、花火を見上げながらフィナーレへと誘います。こうして今年も生徒の熱い夏も終わりました。



## 高体連成績 全道大会

【陸上】 札幌市

【男子】

110mH	3-2	立花亮馬	予選敗退
400mH	3-2	立花亮馬	予選敗退
400mR	1-1	堀内・1-1	高松・1-2 河原
	3-2	立花	予選敗退
走幅跳び	3-2	四十坊佳樹	9位 2-3 奥谷 涼
三段跳び	3-2	四十坊佳樹	3位

### 全国大会進出 (三重県)

	2-3	奥谷 涼	予選敗退
走高跳び	3-2	四十坊佳樹	D N S
	1-2	河原 楓	予選敗退
砲丸投げ	2-3	富岡 翔	予選敗退
円盤投げ	2-3	富岡 翔	予選敗退
ハンマー投げ	2-3	富岡 翔	予選敗退

【女子】

200m	3-1	宇羅 香音	予選敗退
400m	3-4	奥谷 紗羽	予選敗退
	3-1	宇羅 香音	準決勝敗退
800m	3-4	奥谷 紗羽	予選敗退
100mH	3-1	富岡 望優	予選敗退
400mH	3-1	富岡 望優	予選敗退
5000mw	3-1	木村 桃花	10位
400mR	3-1	富岡・3-2	窪田・3-1 宇羅
	3-4	奥谷	予選敗退
1600mR	3-1	富岡・3-1	宇羅・3-4 奥谷
	3-1	木村	予選敗退
走高跳び	3-2	窪田NW	予選敗退
円盤投げ	3-2	窪田	予選敗退
	1-2	福岡	予選敗退

DNSとは、レース競技にエントリーした選手が何らかの事情でスタートしなかった場合のこと、欠場、棄権。

【バドミントン】 小樽市

《国体予選》

【男子】

ダブルス	前田・塚田組	黒田・塚田組	1回戦敗退
シングルス	塚田	2回戦敗退	

【女子】

ダブルス	片山・中塩	4位	
	中村・舟津	藤村・広中	2回戦敗退
	<b>全道推薦 内山・佐藤組 優勝(深西史上初)</b>		
シングルス	漆原 片山	2回戦敗退	
	中塩	1回戦敗退	
	<b>全道推薦 内山 優勝(深西史上初2連覇)</b>		
	<b>全道推薦 佐藤 2回戦敗退</b>		

《高体連》

【男子】

団体	北海道ベスト8		
ダブルス	3-4 前田貴史・1-2 塚田大樹組	1回戦敗退	

【女子】

団体	北海道ブロック	優勝(全道2位)	
	<b>全国大会出場 (静岡県)</b>		
ダブルス	3-4 佐藤 萌・3-4 内山 真希組	北大大会優勝	
	<b>全国大会出場</b>		
	2-4 片山 優亜・2-1 中塩 春菜組	3位	
	3-2 中村 美月		
	1-4 舟津 瑞希組	2回戦敗退	
シングルス	2-4 内山 真希	北海道ブロックで優勝	
	<b>全道優勝 2連覇</b>		
	<b>全国大会出場</b>		
	3-4 佐藤 萌	3位	
	2-3 漆原 ほか	3位	

【卓球】 名寄市

【男子】

ダブルス	木田・牧野組	1回戦敗退
シングルス	木田	3回戦敗退

【テニス部】 札幌市

【男子】

ダブルス	木村・三浦組	1回戦敗退
------	--------	-------

【女子】

団体	1回戦敗退	
ダブルス	堂前・田村組	1回戦敗退
シングルス	堂前	1回戦敗退

【放送局】 千歳市

ラジオドキュメント部門	39作品中37位
創作ラジオドラマ部門	44作品中38位
テレビドキュメント部門	42作品中36位
創作テレビドラマ部門	34作品中23位
研究発表部門	25作品中23位

# 課外活動



## インターハイ出場

バドミントンの第七十回記念北海道高校選手権大会は十五日、旭川市の大雪アリーナで最終日の競技を行い、個人戦女子シングルスで深川西の内山真希選手(三年)が連覇を達成した。内山選手はこの日行われた個人戦ダブルスの全道決勝でも、佐藤萌選手(三年)とのペアで勝ち、初優勝した。内山選手は団体戦、ダブルス、シングルの三部門でインターハイに進む。

今年のインターハイ「2018 彩る感動 東海総体」のバド

ミントン競技は、八月四日から静岡県浜松市で開かれる。写真後方には指導に当たっている井上健一監督が見守っている。

井上監督は昨年、深川スポーツ都市宣言の制定五十周年記念で特別表彰された。

【平成十七年に深川西高校に赴任して以来、バドミントン部顧問を務め、十三年間で教える子を数多くの全国大会に導く。(女子団体戦四回、女子個人戦延べ



北空知新聞提供

五十八人出場)など、指導者としての功績は多大。また、卒業生は進学先、就職先で競技を続け各大会で活躍するなど、深川のみならず北海道におけるバドミントンの競技力向上に大きく貢献している。」

# 鉄をも溶かす炎を燃やせ

後藤 悠仁 (ごとう ゆうじ) 32期生

Yuji Goto Official Websiteより

本名:後藤朋俊 (ごとう ともとし)

日本のヴィオラ奏者。妹背牛町出身。

東京芸術大学を経て、1986年同大学院を卒業。

1985年6月、日本フィルハーモニー交響楽団に入団。2009年まで首席奏者を務める。

1993年、京都・北海道にてリサイタルを開催、好評を得る。

2001年オペラシティを皮切りに、トッパンホールを経て、2004年より王子ホールにて毎年

リサイタルを開催。2015年4月、日本フィルハーモニー交響楽団の常務理事に就任すると

ともに、ソロ活動を本格的に開始。ヴィオラ奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演、

イリス弦楽四重奏団での室内楽等、各地で幅広い演奏活動を行っている。

また、指揮者・トレーナーとしてもアマチュアオーケストラの指導など、精力的に活動して

いる。現在、東京音楽大学指揮科特別アドバイザーも務める。

http://yuji-goto.com/#top

ヴィオラ奏者の後藤悠仁さんを中心とするイリス弦楽四重奏の里帰りコンサートとして1993年から始まった「ふるさとコンサート」ですが、今年は生きがい文化センターで2年ぶりに開催されました。深川出身で関東を中心に活躍するフルーティスト佐藤友美さん(57期生)との共演もありました。

## 進学希望者向けの勉強合宿 ～受験に向けて～

深川西高(阿部 穰校長)の進学希望者を対象にした勉強合宿が七月十四～十六日までの三日間、市内音江町の「ネイパル深川」であった。大学や医療系専門学校への進学を目指す三年生二十四人が苦手な科目を克服しようと、一日十時間の勉強に励んだ。

夏休み前に、長時間の受験勉強に対応できる体力・集中力を養い、学習の習慣化を目的に企画した。生徒たちは二泊三日の日程で二十五時間の実習に励み、真剣な表情で机に向かった。(北空知新聞提供)



## 深川西高等学校「緑の学舎運営委員会」

### 【基本事業】

#### 3、母校の後援に関する事業

- ・10年計画による前庭の植栽の点検(10年目)
- ・卒業予定者による記念植樹(8回目)キハダ

#### 5、同窓会林に関する事業

- ・記念植樹地、湧雲の泉、修練道場、湧雲の白樺等の周辺整備、維持管理
- ・森林組合関係との連携等

地区別懇談会:29年3月2日 音江公民館 欠席

総会:29年5月30日(経済センター)委任状で議決権を提出済み

#### <29年度・事業報告>

- ◎29.06.25 釧路八重、虫害、病害のために罹患部を処置 金田樹木医に診察依頼で判定
- ◎29.10.04 コリノキの記念石碑を山上さんが移動してくれる
- ◎29.10.09 秋作業、午前中は植栽木の越冬作業。記念植樹後校庭へ移動し作業。(坪田・堀川・岡部・篠原・寺前・石川・溝口) 第8回卒業記念植樹「キハダ」 学校関係者3名、生徒8名 排雪による雪害調査
- ◎30.03.12 危険木除去作業 宮本運輸に依頼。榎松2本、白樺1本伐採。カラスの巣撤去。
- ◎30.04.07 30年度第一回運営委員会 (大西会長・坪田・堀川・寺前・妻神・石川・村中・三上・藤井・溝口)
- ◎30.04.10 学校林現地へ被害調査。桜などウサギにやられる。
- ◎30.04.20 移植用オンコを深川中学校へ下見。冬囲いはずし
- ◎30.05.02 ～3、校庭の樹木根元の保護ネット取り付け
- ◎30.05.08 釧路八重開花
- ◎30.05.17 ノビユロとDVD作成現地説明
- ◎30.05.26 オンコ移植(宮本運輸に依頼)
- ◎30.06.10 第2回運営委員会を山で開催。現状確認しながら一部作業を行う。

#### <30年度・事業計画>

- ◎融雪前の植樹林及び校舎前庭の管理
- ◎学校林現地調査(運営委員会の会議を兼ねる) 遊歩道整備等
- ◎研修会の実施・・・随時
- ◎植林後の点検、下草刈りの有無。作業道管理
- ◎播種後の山野草管理確認
- ◎記念植樹、宮脇桜等管理特に害虫防除強化
- ◎同窓会林、修練道場、同窓の泉の点検管理
- ◎第9回・卒業記念植樹事業の準備・・・ホオノキ
- ◎冬囲い、除雪による投雪被害防止看板を設置(東側道路)

#### 【その他】

- (1) 卒業記念植樹の今後の進め方  
樹種を10年サイクルで固定、板倉との関係(バス、食事等見直し)
- (2) 同窓会林・林間の植物たちの編纂
- (3) 80周年記念事業関連に関して  
◎「今を残す・2018」ドローン等での画像記録(春夏秋冬)  
◎希望する期による記念植樹を検討
- (4) 委員の増強
- (5) 活動報告集の発行(27年～30年) 2019年3月発行目標



錦 秋



中心が腐朽



アオダモの花咲く

## 「今を残す・2018」～校庭と同窓会林の四季～のDVDを作成中

開校以来80年を迎えます。校舎新築に際して多大な貢献をして頂いた宇佐美常次郎氏は新校舎を目にすることなく世界を養いましたが、今も校庭で見守っています。又、開校当時の古野俊清校長の強い想いで整えられた校庭の自然環境はその後も未長く守られてきました。学校林も着任毎に校長名義に書き換えることから道に返還するところをS29年、当時の伊藤 充同窓会長や岡部教頭、藤原一郎PTA会長のご努力で撤回、S38年同窓会へ移管し現在に至っています。

中庭にあったイチイの木やドロノキの伐採、植樹等木々の管理には折りに触れ適切なアドバイスを頂いた多くの方に支えられ守られて現在も往時の姿をとどめています。昔の記録も散逸しています。80年を迎えた今の姿を映像を通して残したいと思い、一年がかりの事業ですが取り組んでいるところです。



## ウサギの被害甚大

暖気の無かった今冬、降雪量は多くはなかったものの、幌加内町では電線に手が届くほどの記録的な積雪量となった。当地も例外ではなく山に植えた桜も予想をはるかに超えた積雪の為、春先には保護したネットの上の部分にも雪が残りウサギの格好の餌食になってしまった。雪が融けた地面に立つと仰ぎ見る先にウサギの被害に遭った幹が無残な姿をさらけ出していた。自然、恐るべし。もうこれ以上高所の幹のお世話はできないので被害に遭わないことを祈るのみである。ただし、傍に生えている自生の桜には被害がないので何かヒントがあるのかも。しれない。特有の匂いとか…。

「中学校駅伝」

第5号の同窓会会報で紹介した記事  
を思い出しています。開校五周年誌「報  
告団誌」に第3回全道中学駅伝大会の様  
子が描かれています。旭川の常盤公園を  
出発して、走る、自転車、走る、自転車と  
交互に11人でタスキを繋いで札幌まで  
走りぬけるのだが1等の札商と本校の  
タイムとを比較すると札商は8時間22  
分29秒、本校は8時間38分37秒。其の差  
16分8秒であったと結ばれていた。戦時  
とは言え健脚振りがしのばれる。

「中庭」

四角く囲まれた2階建ての旧校舎に  
は中庭があった。4方向にある出入り口  
からコンクリートの通路が十字型に交  
わって授業の合間の休憩時間に生徒が  
休憩をとっていた。真夏は日陰になる南  
側、日中なので日当たりの良い場所に集  
まっていたことを思い出す。通路の脇に  
は昭和26年ごろに植えられたと言われ  
るとんがり帽子のオンコが並んでいた。  
このオンコの樹は新校舎への移転時  
に当時の小川校長がどうしても残さな  
ければいけないと道々沿いと校舎の南  
側に移植したもので往時の姿をとどめ  
ている。

「懐かしく思い出すこと」

学校祭での行灯。昔は火災の心配に  
配慮さえすれば燃えあがる火に心を躍  
らせたものだ。炎が大きく上がるように  
勢いよく行灯を投げ込んだ思い出がよ  
ぎる。暗くなったグラウンドで心が騒いだ  
フオークダンスは、女子が少なくてこれ  
が様々な物語を生んだ。今は輝く太陽の  
下ではじけるダンスが大地を揺らし、暗  
闇の空に火花の花が咲く。

「石炭から石油に」

暖房は石炭ストーブだった。部屋を暖  
かくするには石炭をガンガン焚かなか

ればいけないが割り当てが決まってい  
るからそうもいかない。前側のストーブ  
の傍は暖かかったが後ろは寒かった。い  
つの時から石炭にかわった。

「ユリノキのこと」

津田さんから託された夢、  
津田恭衛前会長がこよなく愛したユ  
リノキは深川市開基100年を記念し  
て1992年(H4)10月10日に最初に  
植えられました。駐車場の西側に5本  
植えたのですが校舎の新築移転により  
駐車場にと整地された土地は固くしま  
り、更に吹き付ける冬の西風が樹にダ  
メージを与え続けたために枯死。再度補  
植するものの生育せずに年月が経過し  
てしまった。

「湧雲の白樺のこと」

イルムケツプ  
スカイラインが  
開通する前には  
登山道が修練道  
場の尾根伝いに  
道は付けられ白  
樺の大木の根元  
に抜けていた。  
津田さんが友人  
数人と沖里河山  
に抜けたときに  
白樺の前で写し



湧雲の白樺倒壊



倒壊前の湧雲の白樺

た写真を見せていただいた。それは太く  
実に堂々としていた。湧き出する雲間に  
そびえる白樺を「湧雲の白樺」と命名し  
威風を誇っていたが、遂に2017年秋  
の強風で役割を終えるが如く倒壊して  
しまった。

「古い写真に残る木々の今」

車回しの紅葉は80年を醸し出す幹の  
うねりと秋の彩りを今も伝え続けてい  
ます。開校当時には庭に水を撒くホース  
ほどの太さの白樺の樹も大きくそびえ  
立ち年月を重ねてきました。が倒木の恐  
れがあることから順次世代交代を余儀  
なくされています。奉安殿のそばにあつ  
た松も当時と変わらぬ姿を見せていま  
す。

「二斉作業」

春と秋には授業とは別に二斉作業が  
あった。ホウキやクワやスコップを手  
校舎周りの環境整備をするのだが授業  
にはない楽しさがあった。おしゃべりを  
しながらでもなんとか作業は終了した  
ものだ。

どろやなギ

(編集後記)

▼いよいよ開校80周年を迎えますが、  
少子高齢化の影響は驚愕の事態を招い  
ている。昨年度まで各学年4クラスを維持  
していたにも関わらず遂に2クラスに  
なってしまう。1学年6クラスあった  
世代に育った自分としてはこの現象と  
減少をどう捉えたらいいかと思う。地  
方どころか国力の低下を憂える事態と  
なってしまう。

▼少子化が進んでいるにも関わらず付  
度か損得かわからぬが96億も税金を  
使って新規に開校するなどもつてのほ  
か、怒。怒。怒。

▼今号は公報記事を借用いたしましたし  
た。現状をお伝えするには安直な手段で  
すが転載が間違いないかと思ひ、市に了  
解を頂いて現状をお知らせいたします。

▼「記事は足で稼げ」という事でしょう  
が、会報では中々そうはいきません。皆  
さんからの情報も簡単に集まらなくな  
りました。次号から頭を悩ましてです。

▼自分の言葉に責任をもたなくても良  
しとする風潮が社会を覆っています  
し、持論を曲げて正当化する手法がま  
かり通っている。討論の体を為してい  
ない。国を司る人たちが大勢集まって空  
しい討論を繰り広げ、何を考えているの  
だろうと思う日々。

▼目の前に優しく拡がる木々や花や虫  
たちは「生きる」「育つ」と言う事に何の  
異論も持ち合わせていない。四季折々の  
厳しさと優しさに何事もなく年を重ね  
ている。是。

▼膨大な時間の流れの中ではほんの些  
細な出来事なのだけれど、今を生きて私  
たちにしてみると驚愕未曾有の出来事  
が続く。ハワイの溶岩流や西日本豪雨や  
大阪北部地震を始めとして世界各地で  
起こっている事は地球が生きている事  
の証。受け入れられないだけのこと  
ど本当につらくて悲しい。

▼色々個人情報等で制約はありまし  
たが多くの同窓生の方々にご協力を頂き  
名簿発行にこぎつきました。改めて御礼  
申し上げます。  
(溝口信義・記)(18期)

【お知らせとお願い】

※資料収集のお願い。毎度の事ですが古  
い資料を探しています。終活の断舎利で  
経験している事ですが生きていられるう  
ちに捨てられない資料も残された家族に  
とってはゴミです。こうして貴重な資料  
も散逸して確保が困難になります。ご提  
供頂けるものがあれば是非お願いした  
いのです。お借りできるものはコピーを  
してお返しいたします。

※創立二十周年記念誌復刻版

昭和33年9月6日に発行された本  
校の記念誌創立20周年記念誌です。  
(B5判102ページ) 頒布価格  
郵送料込み 1,900円

※校歌・学生の歌 追進歌のCD

CDは卒業生へ記念品として贈呈  
しています。

※第60回 全校コーラス大会の記念D  
VD

記念DVDは全校生徒に記念品と  
して贈呈しています。  
※緑の学び舎運営委員会・五周年記録史  
「緑魂は時空を超えて」  
残部50部ほどありますのでご協力  
頂ければ幸いです。

(A5判 154P ほとんどカラー)

いづれも同窓生の皆さんの中で入  
希望の方が居られましたら郵便振込に  
てお申込み頂ければ送料込みの1、  
000円にて頒布いたします。

入手希望の方は左記口座に郵便振込に  
てお申込みください。

口座番号は

02770・2・45435  
加入者名・北海道深川西高等学校同窓会